

実り豊かな里の秋 自然の恵みを食す

「通潤橋」

通潤橋は、1854年(嘉永7年)に熊本県上益城郡山都町(旧矢部町)の五郎ヶ滝川の谷に架けられた石組みによる水路橋。農業用水として利用が少ない時期には観光客に向けて、大規模な放水を行っています。

熊本のおもてなし
秋



「棚田百選 ~ 番所の棚田」

農林水産省が選定した「日本の棚田百選」には、全国で2番目に多い11ヶ所が熊本県から選ばれています。そのうちのひとつ「番所の棚田」(山鹿市菊鹿町)は、9月になると稲穂の脇に、燃え立つような真赤な彼岸花が咲き誇ります。

はっさく 「八朔祭」

江戸時代中期、田の神に感謝する祭りとして旧暦8月1日(八朔)に行われたことからその名が付けました。現在、熊本県上益城郡山都町(旧矢部町)で9月の第一土曜、日曜に開催されています。竹、杉、ススキ、松笠などの自然の素材による巨大な造り物が町内を引き回されます。

